



Kyushu University
School of Medicine
Department of Biomedical Science

高校生のための
九州大学医学部
生命科学科紹介
2010

「君たちの前に広がる 未知の荒野に道はない。 君たちの後に道はできる。」

九州大学医学部生命科学科長

續 輝 久



九州大学医学部では平成19年度から4年制の生命科学科を設置しました。これは生命医科学と医工学の集中的な教育によって、次世代の先端的医学研究分野を開拓可能な人間科学に立脚した研究者を養成することを目指しています。臨床家ではなく、医学研究者・専門職の育成を目指しています。21世紀は「生命の世紀」と呼ばれ、生命科学の飛躍的な展開が予想され、期待されています。九州大学医学部生命科学科で学ぼうとする皆さんには、本医学部の輝かしい歴史を継承し、将来は世界の生命医科学・医工学領域の最先端にあつて、多くの人々に幸せをもたらす、素晴らしい生命医科学研究者・教育者や医工学者として指導的立場で活躍して欲しいと強く希望します。

本医学部の歴史を簡単に記します。福岡における初めての西洋医学教育は、幕末期の藩校賛生館で行われました。その後の種々の変遷を経て、1903年、勅令により九州大学医学部の前身である福岡医科大学が設立されました。時の第一高等学校第三部卒業生23名は、「福岡に入学せん、進んで新設の大学に入学し、医学界に新風を巻き起こさん」の気概をもって、東京府下の4大新聞に決意の声明を発表し、大挙して入学しています。

以来百余年、九州大学医学部は、先人の弛まぬ努力によって輝かしい業績を挙げ、国民と国家の期待に応えてきています。今日、九州大学医学部は「秀でた、独創的で先端的な基礎医学研究、臨床医学研究、医療の実践」と、これを担う「優秀な人材の育成」を目指しています。さらには高度で専門的な医学的知識・技術を有し、豊かな人間性を備えた、医療・保健の指導・実践者の育成に努めています。これらの活動を通じて、社会貢献・国際貢献を積極的に行いたいと考えています。

平成16年度の国立大学の法人化に伴い、本学部は「国立大学法人 九州大学」の医学研究院となりました。大学院大学ですから、医学・医療の先端研究を通じての社会貢献・国際貢献を、第1目標としています。医学研究院は「基礎医学、先端医療医学、臨床医学、分子生命科学系、医学教育学、保健学」の6部門からなり、医学研究院に属する教員の多くは、大学院医学系学府博士課程、医科学専攻修士課程等の大学院学生と医学部医学科等の学生教育・研究指導に努めると共に、九州大学病院の診療に従事しています。新設の医学部生命科学科の教育には、この医学研究院所属の教員が責任を持って当たります。

九州大学医学部生命科学科は、皆さんがそれぞれの青雲の志を胸に大成するための機会に溢れています。ここを目指す皆さんには「いざ福岡に行かん、そして、生命医科学や生体情報医学に新風を巻き起こさん」との気概を持って、入学して欲しいと願っています。皆さんたちの前には「未知の荒野」が広がっています。開拓者精神旺盛な皆さんが、この未知なる生命科学の研究領域の荒野に果敢に挑戦し、良い師と友人を得て、大きく飛躍されることを願っています。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示します
ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.biomed.kyushu-u.ac.jp/>

沿革／History —おもな年表—

- 明治36年4月1日 京都帝国大学福岡医科大学開設
- 〃 44年4月1日 京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
- 大正8年4月1日 九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
- 昭和3年10月24日 創立25周年記念祝典挙行
- 〃 22年10月1日 九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
- 〃 28年5月3日 医学部創立50周年記念式典挙行
- 〃 30年4月1日 九州大学大学院医学研究科設置
- 〃 48年11月24日 創立70周年記念式典挙行
- 〃 53年11月25日 創立75周年記念式典挙行
- 〃 58年11月5日 創立80周年記念式典挙行
- 〃 61年4月1日 医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
- 平成12年4月1日 医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
- 〃 15年3月8日 創立100周年記念式典挙行
- 〃 15年4月1日 医学研究院の8部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の5部門に、23講座を11講座に再編
大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された
医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置
大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった
学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
- 〃 16年4月1日 九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
- 〃 19年4月1日 医学部に生命科学科を設置
大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
- 〃 20年4月1日 大学院医学系学府博士課程を1専攻に再編
- 〃 21年4月1日 大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置

医 学 部

医学部生命科学科は、平成19年度(2007年度)からスタートした新しい学科です。本学科では、人間を対象とした次世代の生命科学領域の展開を担う新しいタイプの人材(生命医科学者、生命医工学者)を育成することを目標としています。そのために、人の生命に興味を持ち、新しい領域を学ぶための旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつと共に国際的な活躍を行うための語学能力を身につける意欲ある学生を歓迎します。

1 教育理念

教育理念・目標、育成する人物像等

医学部生命科学科は、生物科学系の基礎知識、医学教育のコアの部分の幅広い基礎的知識、並びに分子細胞生物学、生体応答制御学、生体情報機能学、応用医工学等の生命医科学分野に関する基盤となる知識を身につけた人材を育成することを目的としています。この目的を実現するために、生命科学科の教育においては、「幅広い知識を活かした高度な専門的能力を備えた人材の育成」、「生命科学に関わる専門職として発展性のある人材の育成」、「課題探求・問題解決能力を備えた人材の育成」、「生命医科学分野でリーダーシップを発揮できる人材の育成」などを目標としています。

2 教育プログラム

教育課程の特色・内容

生命科学科では、基本的な医学知識、生命観や研究倫理を修得するとともに、高年次において、生命医科学、生体情報医工学等に重点を置いた特徴的な2コースに設定された「研究法」等を含む選択科目から学習メニューを個別に作成し、人を対象とした視点を有する専門職として自立・活躍するために必要な基礎的能力・態度を身につけるために編成した独自のカリキュラムにより教育を行います。さらに国際的に活躍できる人材養成に不可欠な英語教育を重視したカリキュラム編成により、科学論文の読解だけでなく、会話や学術講演を理解するためのコミュニケーション能力についての基礎的な教育も行います。

カリキ

専 門 職	履修コース	1 年 次		2 年 次
		前 期	後 期	前 期
バイオメディカル・サイエンティスト	分子細胞生物学	生命科学入門Ⅰ、Ⅱ◎	分子細胞生物学入門◎ 生体の構造と機能Ⅰ◎ 生命医科学実習Ⅰ◎	生体の構造と機能Ⅱ～Ⅴ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ
		全 学 教 育	全 学 教 育	全 学 教 育
	生体応答制御学	生命科学入門Ⅰ、Ⅱ◎	分子細胞生物学入門◎ 生体の構造と機能Ⅰ◎ 生命医科学実習Ⅰ◎	生体の構造と機能Ⅱ～Ⅴ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ
		全 学 教 育	全 学 教 育	全 学 教 育
バイオメディカル・エンジニア	生体情報機能学	生命科学入門Ⅰ、Ⅱ◎	分子細胞生物学入門◎ 生体の構造と機能Ⅰ◎ 生命医科学実習Ⅰ◎	生体の構造と機能Ⅱ～Ⅴ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ
		全 学 教 育	全 学 教 育	全 学 教 育
	先端医工学	生命科学入門Ⅰ、Ⅱ◎	分子細胞生物学入門◎ 生体の構造と機能Ⅰ◎ 生命医科学実習Ⅰ◎	生体の構造と機能Ⅱ～Ⅴ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ
		全 学 教 育	全 学 教 育	全 学 教 育

赤：生命科学科独自の科目 青：医学科と共通

◎：必修、◇：選択必修、○：選択

生命科学科案内

1. 生命医科学コース 分子細胞生物学：分子生命科学（細胞構築・制御）、発生再生医学、分子医学（遺伝子・細胞療法学）
生体応答制御学：生体防御医学（ウイルス学、細菌学、寄生虫学、免疫学）、予防医学、分子疫学（遺伝疫学）、ゲノム医科学、薬理学
2. 生体情報医工学コース 生体情報科学：バイオインフォマティクス（情報生物学）、プロテオミクス（構造生物学）、脳・神経機能情報学
応用医工学：生体シミュレーション学、バイオロボティクス

教育指導体制

教育指導体制としては、生命科学科運営会議や医学科・生命科学科教務委員会が教育プログラム全般について主体となり時代に即した教育を目指します。その下で医学研究院並びに関連部局の教員が協力して行います。各学年には、担任を置き、個々の学生にきめ細かく対応します。

また、高年次においてコース毎の少人数教育を行い生命医科学者、生命医工学者としての基礎的能力・態度を修得するとともに、科学論文の読解だけでなく、会話や学術講演を理解するためのコミュニケーション能力を身につけさせるカリキュラムを編成しています。

3 求める学生像（求める能力、適性等）

人の生命に興味を持ち、生命科学関連領域の研究に情熱的で、かつ主体的勉学と自己啓発に積極的であり、新しい領域に挑戦する意欲が旺盛な学生を求めます。

4 入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

入学者選抜に関しては、分離・分割方式を採用しています。一般入試（前期日程）で8名、一般入試（後期日程）で4名の合計12名が定員です。前・後期とも大学入試センター試験の成績及び個別学力検査の成績並びに面接試験を実施し、総合的に判断しています。

なお、平成24年度入学者選抜からは、一般入試（前期日程）のみを実施し12名の定員です。一般入試（後期日程）は実施しません。選抜は大学入試センター試験の成績及び個別学力検査の成績並びに面接試験を実施し、総合的に判断します。

ユラム

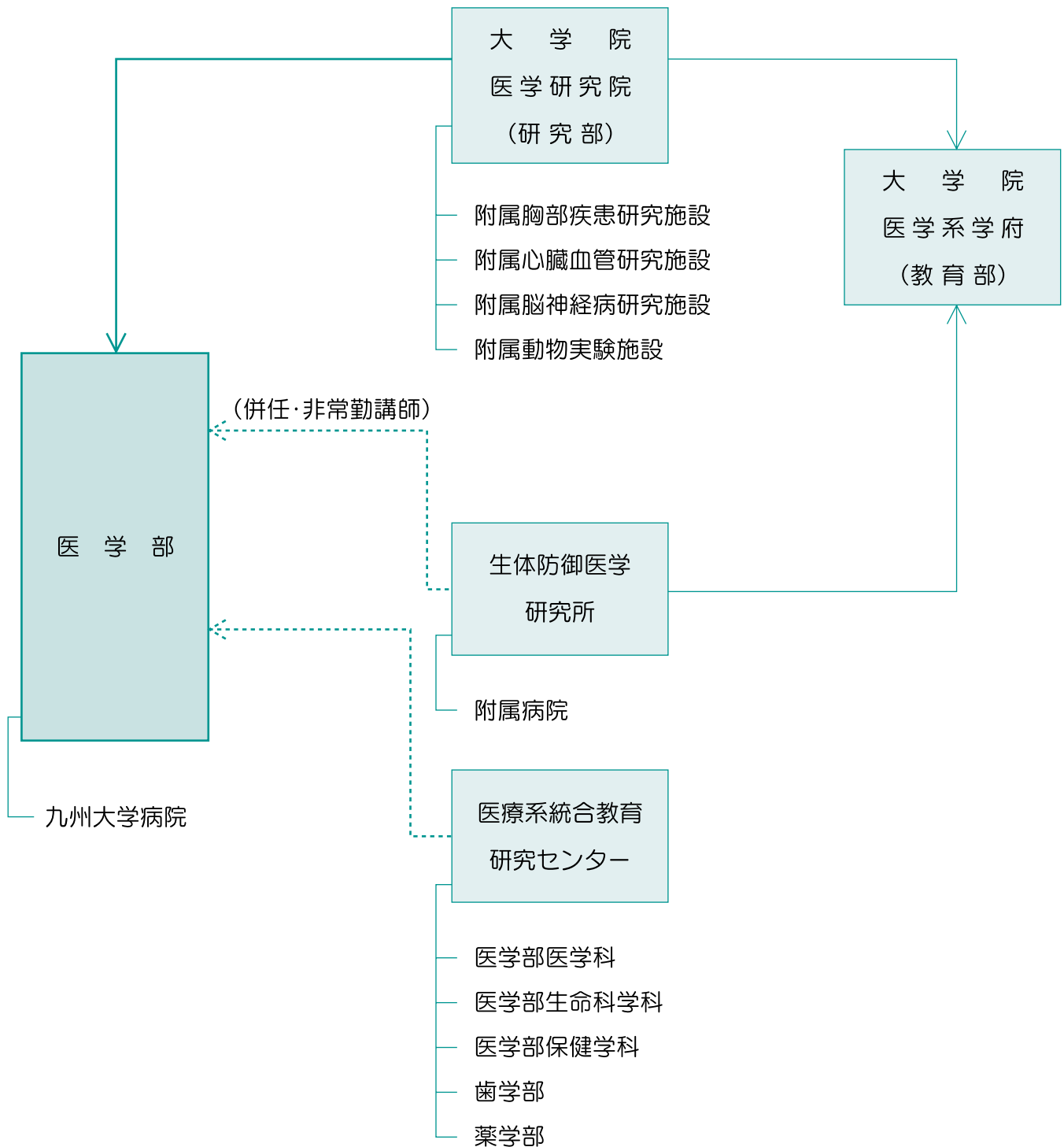
（平成22年度現在）

2年次		3年次		4年次	
後期	前期	後期	前期	後期	
生命科学概論Ⅰ、Ⅱ◎ 科学英語Ⅰ◎	感染と宿主応答Ⅰ～Ⅲ◎ 薬物と生体反応◎ 病因と病態Ⅰ、Ⅱ◎ 病因と病態Ⅲ○ 生命医科学実習Ⅳ～Ⅵ◎	分子細胞生物学Ⅰ、Ⅱ◇	病態制御学Ⅰ～Ⅴ◎ 生命科学研究法Ⅰ◇	生命科学特別研究◎ （卒論）	
生体の構造と機能Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ、Ⅶ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ◎		生体応答制御学Ⅰ、Ⅱ◇	社会医学Ⅰ、Ⅱ◇ 科学英語Ⅳ○		
全学教育		科学英語Ⅱ◎ 科学英語Ⅲ○	安全管理学○ 医療系統合教育Ⅰ、Ⅱ◇		
生命科学概論Ⅰ、Ⅱ◎ 科学英語Ⅰ◎	感染と宿主応答Ⅰ～Ⅲ◎ 薬物と生体反応◎ 病因と病態Ⅰ、Ⅱ◎ 病因と病態Ⅲ○ 生命医科学実習Ⅳ～Ⅵ◎	分子細胞生物学Ⅰ、Ⅱ◇	病態制御学Ⅰ～Ⅴ◎ 生命科学研究法Ⅱ◇	生命科学特別研究◎ （卒論）	
生体の構造と機能Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ、Ⅶ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ◎		生体応答制御学Ⅰ、Ⅱ◇	社会医学Ⅰ、Ⅱ◇ 科学英語Ⅳ○		
全学教育		科学英語Ⅱ◎ 科学英語Ⅲ○	安全管理学○ 医療系統合教育Ⅰ、Ⅱ◇		
生命科学概論Ⅰ、Ⅱ◎ 科学英語Ⅰ◎	感染と宿主応答Ⅰ～Ⅲ◎ 薬物と生体反応◎ 病因と病態Ⅰ、Ⅱ◎ 病因と病態Ⅲ○ 生命医科学実習Ⅳ～Ⅵ◎	生体情報機能学Ⅰ、Ⅱ◇	病態制御学Ⅰ～Ⅴ◎ 生命科学研究法Ⅲ◇	生命科学特別研究◎ （卒論）	
生体の構造と機能Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ、Ⅶ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ◎		先端医工学Ⅰ、Ⅱ◇	社会医学Ⅰ、Ⅱ◇ 科学英語Ⅳ○		
全学教育		科学英語Ⅱ◎ 科学英語Ⅲ○	安全管理学○ 医療系統合教育Ⅰ、Ⅱ◇		
生命科学概論Ⅰ、Ⅱ◎ 科学英語Ⅰ◎	感染と宿主応答Ⅰ～Ⅲ◎ 薬物と生体反応◎ 病因と病態Ⅰ、Ⅱ◎ 病因と病態Ⅲ○ 生命医科学実習Ⅳ～Ⅵ◎	生体情報機能学Ⅰ、Ⅱ◇	病態制御学Ⅰ～Ⅴ◎ 生命科学研究法Ⅳ◇	生命科学特別研究◎ （卒論）	
生体の構造と機能Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ、Ⅶ◎ 生命医科学実習Ⅰ～Ⅲ◎		先端医工学Ⅰ、Ⅱ◇	社会医学Ⅰ、Ⅱ◇ 科学英語Ⅳ○		
全学教育		科学英語Ⅱ◎ 科学英語Ⅲ○	安全管理学○ 医療系統合教育Ⅰ、Ⅱ◇		

※上表は、平成23年度にむけ再編成中の為、変更の予定です。

医学研究院と医学部医学科・生命科学科、医学系学府の構成図

- 1) 医学研究院 教員が所属するところで、研究活動が行われる
- 2) 医学部 学部学生を教育するところ
- 3) 医学系学府 大学院学生を教育するところ



学 生 / Students

(1) 学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

学 部

School of Medicine

(平成22年5月1日現在)

As of May 1st, 2010

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医 学 科 Department of Medicine	定 員 Enrollment Limit	110	105	100	100	100	100	615
	在籍学生数 Present Number	110 (19)	121 (20)	97 (18)	103 (21)	108 (20)	102 (12)	641 (110)
保健学科 Department of Health Sciences	定 員 Enrollment Limit	137	137	137	137			548
	在籍学生数 Present Number	144 (107)	142 (109)	137 (95)	159 (111)			582 (422)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定 員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	14 (5)	16 (5)	14 (5)	15 (7)			59 (22)
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	259	254	249	249	100	100	1,211
	在籍学生数 Present Number	268	279	248	277	108	102	1,282

Figures in parentheses indicate the number of female students.

* ()内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)

Graduate School(Master's Course)

(平成22年5月1日現在)

As of May 1st, 2010

専 攻 名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	9	24	33
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	26	22	48
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	40	40	80
	在籍学生数 Present Number	35	46	81

大学院(専門職学位課程)

Graduate School(Master's Course)

(平成22年5月1日現在)

As of May 1st, 2010

専 攻 名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	21	23	44
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	21	23	44

大学院(博士課程)
Graduate School(Doctor's Course)

(平成22年5月1日現在)
As of May 1st, 2010

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
機能制御医学専攻 Integrative Biomedical Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	25	25
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	32	32
生殖発達医学専攻 Reproductive and Developmental Medicine	定員 Enrollment Limit	—	—	—	10	10
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	7	7
病態医学専攻 Pathological Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	19	19
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	14	14
臓器機能医学専攻 Medicine and Surgery	定員 Enrollment Limit	—	—	—	37	37
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	83	83
分子常態医学専攻 Physiological Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	24	24
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	7	7
環境社会医学専攻 Environmental Health and Socio-Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	12	12
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	9	9
医学専攻 Department of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	107	107	107	—	321
	在籍学生数 Present Number	108	124	120	—	352
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	10	—	—	—	10
	在籍学生数 Present Number	11	—	—	—	11
合計 Total	定員 Enrollment Limit	117	107	127	127	478
	在籍学生数 Present Number	136	120	122	136	514

*平成20年4月より1専攻化 *保健学専攻は博士後期課程

(2) 学部卒業生数 Number of Graduates

(平成22年5月1日現在)
As of May 1st, 2010

		平成 19年度 2007	平成 20年度 2008	平成 21年度 2009	平成3年7月1日 以降の卒業生数 (累計) Total (1991.7.1~2010.3.31)
医学科 Department of Medicine		100	98	106	1,972
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	81	75	76	305
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	38	34	29	135
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	40	38	36	152
	小計 Total	159	147	141	592
計 Total		259	245	247	2,564

*医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences founded at Oct. 2002, The graduate is from Mar. 2007

医学部(医学士)卒業生 学部(旧制)累計 4,863名
 School of Medicine(Old system)
 学部(新制 昭和24年以降入学～平成3年6月30日卒業)累計 3,858名
 School of Medicine(New system 1949～1991.6.30)
 医学専門部累計 838名
 Medical College

(3) 大学院学位授与者数 Doctorate Conferred

区分 Classification			平成 19年度 2007	平成 20年度 2008	平成 21年度 2009	平成3年7月1日 以降の学位授与者数 (累計) Total (1991.7.1～2010.3.31)
博士課程 Doctor Course	課程博士 Degrees Awarded	博士(医学) Doctor of Philosophy (Medical Science)	85	79	79	1,345
		博士(理学) Doctor of Science	1	0	0	82
	論文博士 Theses Accepted	博士(医学) Doctor of Philosophy (Medical Science)	29	32	26	1,047
		博士(理学) Doctor of Science	0	0	0	8
修士課程 Master Course		修士(医科学) Master of Medical Sciences	27	26	20	132
		修士(医療経営・管理学) Master of Public Health				38
専門職学位課程 Master Course		医療経営・管理学修士(専門職) Master of Public Health	27	20	20	115

博士学位授与者数 旧制学位(福岡医科大学、九州帝国大学、九州大学)累計 5,310名
 Doctorate Conferred Old system
 新制学位 課程博士(昭和24年以降入学～平成3年6月30日授与)累計 医学博士 892名
 New system Degrees Awarded(1949～1991.6.30) 理学博士 15名
 論文博士(昭和28年～平成3年6月30日授与)累計 医学博士 1,549名
 Theses Accepted(1953～1991.6.30)

図書・雑誌 / Books and Journals

(平成22年3月31日現在)
 As of March 31st, 2010

区分 Classification	図書 Books	学術雑誌 Journals
和書 Japanese	143,117冊	3,438種
洋書 Foreign	208,395冊	8,918種
計 Total	351,512冊	12,356種

蔵書数は医学図書館及び病院地区の研究室を含む。

平成23年度入学者選抜の基本方針(入学要件、選抜方式、配点等)

入学定員：12名 一般入試（前期日程8名、後期日程4名）

(1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語	面接	計
センター試験	100	50		100	100	100	—	450
個別学力検査	—	—	—	250	250	200	100	800
計	100	50		350	350	300	100	1,250

後期日程

	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語	面接	計
センター試験	100	50		100	200	50	—	500
個別学力検査	—	—	—	—	—	150	100	250
計	100	50		100	200	200	100	750

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

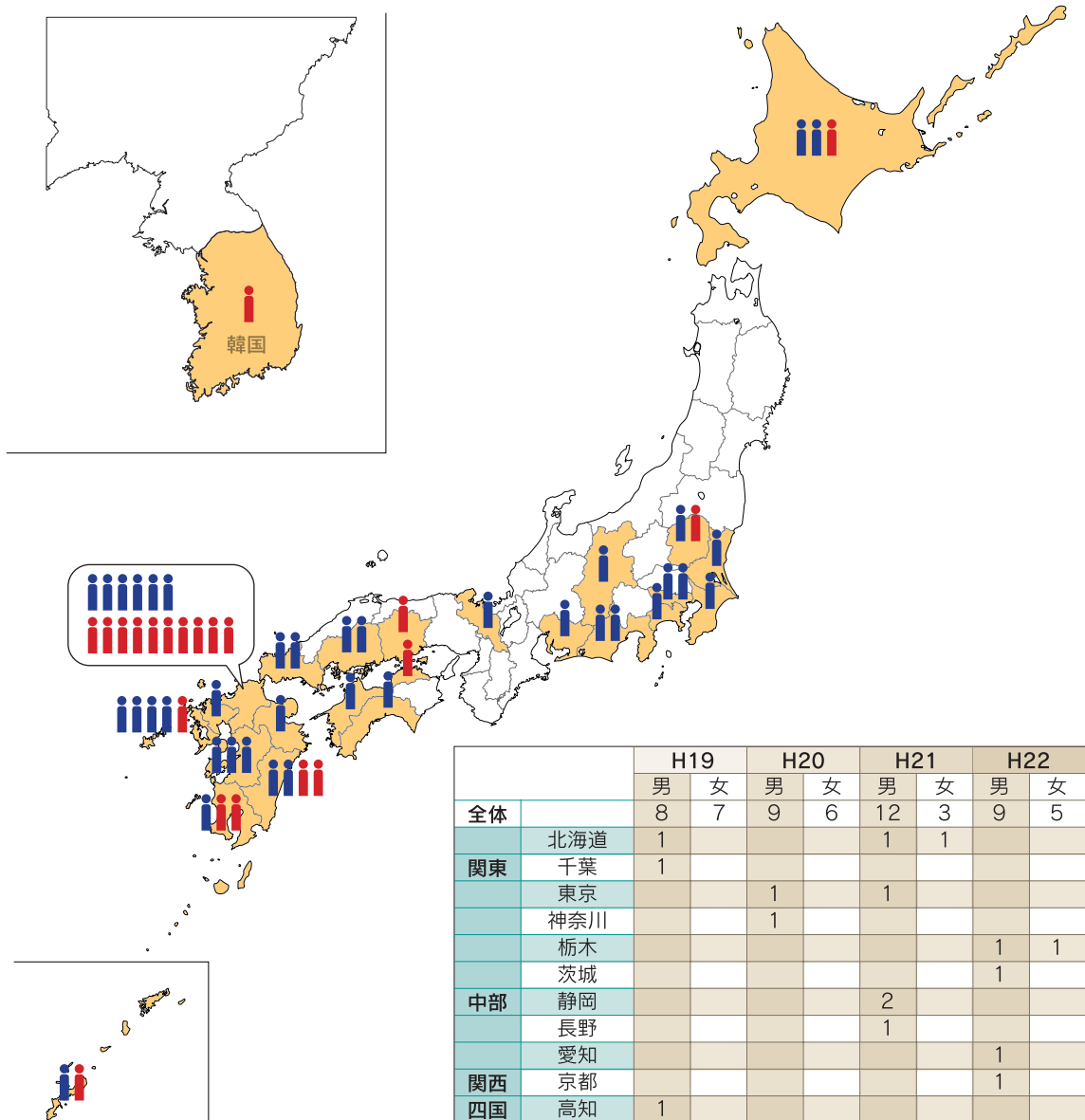
	数学	理科	外国語	面接
科目	数学 I 数学 II 数学 III 数学 A 数学 B 数学 C 6科目	物理 I・物理 II 化学 I・化学 II 生物 I・生物 II 2科目選択	英語 英語 II リーディング ライティング ドイツ語 フランス語 1科目選択	
配点	250(150分)	250(150分)	200(120分)	100(1人20分以内)

後期日程

科目等	配点	試験時間
英語 <ul style="list-style-type: none"> 英語 II リーディング ライティング 	150	90
面接	100	1人20分以内

出身高校所在地別 在学生の分布

生命科学科の第一期生（平成 19 年度入学）、第二期生（平成 20 年度入学）、第三期生（平成 21 年度入学）、第四期生（平成 22 年度入学）の合わせて 59 名の学生の出身地は、下図に示すように、北は北海道から南は沖縄に至るまで、小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。これに加え、平成 22 年度には韓国からの留学生も入学しています。



		H19		H20		H21		H22	
		男	女	男	女	男	女	男	女
全体		8	7	9	6	12	3	9	5
北海道		1				1	1		
関東	千葉	1							
	東京			1		1			
	神奈川			1					
	栃木							1	1
	茨城							1	
中部	静岡					2			
	長野					1			
	愛知							1	
関西	京都							1	
四国	高知	1							
	愛媛					1			
	香川		1						
中国	広島			1		1			
	山口	1						1	
	岡山								1
九州	福岡	3	4	3	4		1		1
	宮崎		2			1		1	
	大分							1	
	鹿児島				1			1	1
	熊本			1		1		1	
	佐賀	1							
	長崎			2		2	1		
	沖縄				1	1			
海外	韓国								1

平成19年度から九州大学医学部に開設された生命科学科は、基礎医学分野において世界レベルの研究者を育成する、ユニークで我が国でも先駆けとなる学科です。生命医科学や医工学などの基礎的な学問領域を広く学び、先端的で創造的な基礎医学研究を開拓する人材の育成に向けた21世紀型医学教育を目指しています。

在学生の8人 尾鶴 亮さん(3年)、永井 陽子さん(3年)、塩川 萌さん(2年)、田口 裕也さん(2年)、藍原 周平さん(1年)、伊藤 愛さん(1年)、西田 理紗さん(1年)、濱崎 英臣さん(1年)に、生命科学科での勉強や大学生活について語っていただきました。

Q どうして「生命科学科」を志望しましたか？

尾鶴 1期生で入ってきた人と2期生と3期生とで全然違うと思います。

永井 1期生は強い志望ってあまりないと思います。

田口 以前から研究職に就こうというのは考えていたので、それで理学部の生物学科を志望していました。でも、生命科学科があるのを知って医療系の研究をするのならこちらのほうがいいかなと思って変更しました。



塩川 私は農学部志望で、農学部に行ってバイオテクノロジーの勉強がしたいと考えていたのですが、「免疫学」に興味を持って、その勉強をしたいと思っていた高校3年の夏に生命科学科を知っていいなと思いました。

藍原 最初、薬剤師を志望していましたが、徐々に薬学への興味が持てなくなって、でも医学関係には興味があったので、医学科も考えましたが研究者の方向に進もうと思って、たまたま九州大学の生命科学科を見つけてここに来ました。

濱崎 私はもともと医療工学に興味があって医学部か工学部かで結構迷っていたのですが、初めは工学部に行って、卒業した後に医学部を再受験しようかなと考えていたのですが、さすがに時間がかかりすぎるのでいいところがないかなって探していて、生命科学科を見つけて志望しました。



伊藤 私は途上国援助の仕事がしたくて、最初は文系の大学に通っていましたが、医師になったら学問的じゃなくて、その現場の人に貢献できるかなと

思って受験勉強をしていたのですが、生物とか化学が高校のときは嫌いだったのですが勉強したら面白くなって、研究だともっと幅広くいろんなことができるかなと思いました。それで、生命科学科のホームページを見てすごく面白そうだったから受験しました。

西田 私は小さいときに病院に通っていて、それがきっかけで医学に興味を持ったのですが、別に医師になるためではなく医学を学ぶための志望校を考えて、生命科学科を見つけてここなら自分のやりたいことができそうだなと思いました。



Q 生命科学科の魅力は何でしょうか？



田口 国公立で医学部の中にある生命科学は鳥取と九州大学の2校しかないので来ました。受験大学を決めるときに迷いましたが、どうせ勉強するのだったら医学部の中にある方がいいかなって思いました。

伊藤 私も医学部の中にある学科だから魅力を感じました。

Q 生命科学科を志望するのに不安はありませんでしたか？

濱崎 3学年しか学生はいないし、その先がどうなっているかもわからない不安は少しありました。

尾鶴 1期生だからあまり考えていませんでした。

藍原 先がわからないから、楽しいと思います。

尾鶴 同感です。

Q 家を離れて福岡の大学に来ることに抵抗はありませんでしたか？

藍原 自宅通いが出来ないのだったらどこでも一緒かなって思っていたので、問題はありませんでした。

尾鶴 実家を離れて一人暮らしは大変じゃないですか？

藍原 入学前は何も考えていませんでした。でも今考えたら重要な問題だと感じています。住居の場所選びで、生活時間に影響します。



Q 大学に入学して授業で戸惑ったことや困ったことはありますか？

田口・尾鶴 授業時間が長く感じます。

藍原 高校では数学の授業が毎日あったけど、大学では週一回しかその授業がないっていうのが多いから、そういう意味じゃ科目数が多くてテストは大変だろうけど、毎日変化があって面白いと思います。

伊藤 レポートが多くて戸惑っています。

藍原 レポートを書くに当たって私は大丈夫だったけど、パソコンが使えない人は苦労するだろうな。

濱崎・伊藤 私はあまり使えなかったので苦労しました。



Q 入学してから、高校のときにやっておけばよかったと思ったことはありませんか？

藍原 私は理科の科目で「化学」と「物理」を選択しましたが、「生物」をとっていなかったで、「細胞工学」の授業が全くわかりませんでした。周りの人に聞いてみたら、みんな普通にわかるよって言っていたので、相当勉強しなければ大変だなと思いました。



西田 私も同じです。

田口 「生物」を選択していたので、あまり困らなかった。

塩川 生物はこれからいっぱい勉強するからいいけど、物理は大事だと思います。基礎的なことは最低限必要です。

Q 入試のこともあるので、「理科」の選択は重要な問題と思われませんが、あえて高校生に対してアドバイスがあったらお願いします。

藍原 受験のときはそんな暇はないだろうから、卒業とか受験が終わった後の3月中から入学するまでの間にがんばっておくと後が楽だと思います。

Q 大学に入学して、授業以外の時間でこれは楽しいと思うことはありませんか？

西田 授業の合間に、クラスの友達と体育館で卓球とかします。

永井 図書館をよく利用します。

濱崎 パソコン室を利用します。

塩川 伊都キャンパスはいくつもパソコン室があります。

藍原 学食も結構落ち着きます。



Q 時間割の組み方などで大学生活を送る上での情報はどのように入手しましたか？

藍原 まだ1年生なので新歓合宿のときの先輩の話が役に立ちました。それと生命科学科のガイダンスのときの先輩の話が役に立ちました。

Q 今後、勉強や研究を行って行く上で、「医師」や他の分野の人達とどのように接して行きたいですか？

伊藤 ボランティア活動などにも参加して、「医師」と直接話したりして、できるだけ現場の様子を感じて行きたいと思っています。

濱崎 工学系の人達とも多く接点を広げたいと思います。

尾鶴 活動の範囲をできるだけ広くするように心懸けています。



Q 入学試験のことで何か記憶に残っていることはありますか？

永井 面接は素直に自分を出せることがポイントだと思います。

尾鶴 面接のために専門の勉強もしましたが、あまり必要でなかった。でも、そのとき勉強したことが入学した後に役立っています。



座談会に参加した在学生

上段左より 塩川さん、尾鶴さん、永井さん、藍原さん
下段左より 伊藤さん、西田さん、田口さん、濱崎さん



「The future is ...」

3年 中島 達郎

生命科学科開設を知り、北海道から日本縦断をしてきて早3年。大学生活は、充実しているように見えて、本当に早く過ぎ去っていくものだ。その短く貴重な大学生活を有意義に過ごしているのは、「研究をしたい」という気持ちを持ってこの特色ある生命科学科にいるからこそ、と思えるのである。

3年前期では基礎医学をほぼ終え、その後に「早期研究室体験実習」なるものがある。その名の通り、研究室にお邪魔してもらい、研究を肌で味わうことのできる期間なのである。勿論、それまで待たずとも1、2年生のうちから研究室に出入りさせてもらうことはできる。しかし、この期間には日頃の講義が設けられていないので、一日中研究室に入り浸ることができる。この時期から研究者の生活を味わえるのは、とても貴重な体験となる。後期からも、講義は午前が中心となり午後は研究室へ、という生活が待っている。

そんなこんなで4年間のうちの半分以上が既に過ぎてしまったが、「研究者になる!」という意欲だけは持ちつつも、将来の展望はまだはっきりとは見えていない。先輩がいないので今後の進路の予想もつかず、研究者という職業に対しての不安が押し寄せてくるときもある。だが、未来は見えずに当たり前。未来が見えてはつまらない。そう思う。こうなるのではないかと推測しながらも、それとは違った結果が出た時、落ち込むのではなく、予想外の結果を面白いと思ひ、さらに考える。それが研究の醍醐味である。

だから、未来が見えていなくてもいいのだ。

The past is history, and the future is a mystery.

そんな言い訳をしつつ、英語や表現能力といった将来への準備だけは整えておこうと日々精進している。生命科学科には、意識を高く持てば充実した学生生活を送れる環境があるのだから。



生命科学科に入学して

2年 久保田章乃

生命科学科に入って最初に感じたことは、とても充実した環境で学べることへの嬉しさと期待感でした。多数の専門書が取り揃えられ、それらがフリーで閲覧できる交流プラザは最新の研究論文を読むのに活用できますし、となりにPCルームもあり、講義等で疑問に思ったことをすぐに解決したり理解を深めたりする際に利用しています。高校までの勉強は大学受験という目標に向けての結果や答えを重視したもので、いわば既にある道を行くという面が強いものでした。対して大学での勉強は自分の学びたいことを自ら選び、自身で道を切り拓いていくことができます。入学直後に生命科学科長である續先生が仰っていた、「あなたたちの前にはまだ道はない。あなたたちの後ろに道ができていくのだから。」という言葉は今でも私の中で、学んでいく上での原動力となっています。

生命科学科は2年まで医学科と同じ講義を受け、医学の基礎を学びますが、医学科の学生と同じ場で学べることはとても良い刺激になると思います。学ぶ場を共有することで研究者を目指す者とは違った価値観を知ることができずし、臨床とのつながりが持ちやすいことも将来研究する上での強みになるのではないかと思います。九州大学医学部は研究が盛んであり、挑戦の機会が多くあることも喜ばしいことでした。1年の時から様々な先生が講義をして下さいますが、その中でご自身の研究について紹介して下さい方も多くいらっしゃいます。また、気軽に研究室を訪れることを勧めて下さるので、休日などを利用して低学年のうちからでも研究に触れることができます。私自身も、1年のはじめに講義を受けた教授にお願いをして勉強会を開いてもらい、少人数ですが普通の講義とは異なる形式で楽しみながら学んでいます。また、今年は夏休みを利用して研究室で実験をしようと思っています。このように生命科学科での生活は多くの知識や興味との出会いに溢れており、毎日楽しく充実しています。



自分のたくさんの“やりたいこと”を大学で

3年 瀧口 友香

「核からmRNAが転写され、リボソーム上でアミノ酸を運ぶtRNAとで翻訳され、アミノ酸が多量につながって、やがて立体構造をなし、タンパクになる。」これは、高校生物で学習するタンパク合成の簡単なメカニズムです。実際はもっと複雑ですが、私はこれを習ったとき“こんな複雑なことが身体の中で起こっているの?!”と、非常に大きな衝撃と感動を覚えました。それ以来、“なんで?どうやってこうなるの?”という自分の中の“知りたい”という好奇心がどんどん大きくなっていて、生命科学科に入学しました。

そして今は、3年前期の「早期研究室体験実習」で「脳機能制御学分野」という研究室に配属され、まあ、簡単に言うと脳の中にできる癌細胞やアルツハイマーという病気をテーマとした研究を「体験」という形でさせてもらっています。

しかし、ここまでに至る中での問題は、なかなか自分のテーマを絞り切れなかったことです。入学当初は、とりあえず“脳”について勉強したい、と本当に漠然としたイメージしか持っていなかったため、そこから絞るのは大変でした。その間、何をしたかという、まず、神経系を扱う研究室に行き片端から話を聞き、研究室内の雰囲気を見て回りました。時には、脳の解剖見学や簡単な実験をさせてもらったり、教授と直々にお話する機会を設けてもらったりしました。そうしているうちに、“あ、これ面白そう!”、“これはちょっと自分のしたいことと違う気がする…”と、だんだん方向性がはっきりしてきました。

そして、ピンツ!と来たのが今通っている研究室です。

現在は、あるテーマをいただき1か月まとまった時間をとって研究室に足を運ぶ毎日ですが、失敗しながらも少しずつ自分で手を動かしながらたくさんのことを学んでいます。この1か月は部活やバイトとも両立しなければならず、決して楽とはいえない生活でしたが、今までのようなただ講義を聴くだけという形ではない学習で、自分の興味をどんどん深く掘り下げていくことができるため、非常に充実した日々です。

生命科学科は医療系の学部ではまれな特定の資格や職が得られない学科で、これから自分自身もどうなるかがわからず悩む時もありますが、裏を返すと、しっかりと芯さえ持っていれば、研究者をはじめ医薬品・医療機器開発や留学とどんな方向にも進むことができる学科ということです。私は生命科学科の1期生で先輩もおらず、手探りの状態でしたが、今は、研究はもちろん大学生活も含め自分の“やりたいこと、知りたいこと”に前向きに全力で取り組みたいと思っています。

「自分の“好きなこと”を一生やっていける」ということはすごく魅力的だと思いませんか?



「医学部生命科学科」という選択

2年 田中 智大

九州大学医学部生命科学科に入学してから2年が経ちました。生命科学科では、似たような目標を持つ仲間とともに充実した日々を送ることができます。生命科学科のキーワードとして「少人数である」ということが挙げられます。1学年15人の学科なので同学年はもちろん、先輩・後輩とのつながりも他学部より多いといえます。また、生命科学科では世界で活躍する研究者の講演を聴くなど最先端の研究に触れる機会も多く、高いモチベーションを持って学生生活を送ることができるのも魅力の一つです。多くの大学に設置されている「生命科学科」の中でも、「医学部生命科学科」となると数は限られます。医学科の仲間と学び、「人類の健康」に重点を置いた学習を通じ、基礎医学の研究者や民間企業の研究職、科学ジャーナリストや医療コーディネーターなど多彩な進路を切り拓くことができます。

次に、勉学以外の生活について簡単に紹介したいと思います。学生生活の拠点となる馬出キャンパスは交通の便もよく、サークル活動などにも参加しやすい環境といえます。馬出キャンパスで活動するサークルは医・歯・薬学部の学生が多いのですが、箱崎や伊都キャンパスで活動するサークル、部活動には全学部の学生が参加しています。私は箱崎キャンパスの部活動に参加していますが、様々な考えを持った人との交流は新鮮でとても楽しい時間を過ごしています。数ある医系サークル、全学部サークルの中から自分にあったサークルで活動することができれば、大学生活はより豊かなものになるでしょう。

他にもアルバイト等、勉学以外の時間が増えるのが大学生活だと思いますが、いろいろなことに興味を持ち、積極的にチャレンジすることをお勧めします。

生命科学科では多くの人と出会い、切磋琢磨することで自分自身の可能性を大きく広げられると、私は確信しています。皆さんの入学をお待ちしております。



私にとって「生命科学科」とは

1年 西田 理紗

私は自分の眼の病気の関係で小さいころから医学に興味を持っており、医学について深く学びたいと考えていました。高校に入る前は漠然と、医学=医学科と思っていましたが、私の場合医学を学びたいという気持ちはあったのですが、医師になりたいというわけではなかったので、進路を真剣に考え始めた時にとっても悩みました。そして、たまたま九州大学の学部案内を見ていた時に生命科学科というものがあることを知り、調べてみると医学科と授業を共有しつつも、臨床ではなく研究の道に進む学科だということを知り、ここなら自分のしたいことができると思いました。

10年前には治すことは到底不可能な病気でも、現在では治療法が見つかるものは山ほどあります。今治すことができないような病気でも10年後には治るのが当たり前になっているかもしれません。この学科はそんな大きな可能性を持ったところだと思ったのでぜひ自分もここで勉強したいと思い、受験しました。定員が少なく、面接もあったので受験は不安でいっぱいでしたが、面接では自分の考えを素直に言えば大丈夫です。そしてなにより生命科学科で勉強したいという強い気持ちを持つことが大切だと思います。



生命科学科に入った理由と入試

1年 濱崎 英臣

私が生命科学科に入った理由の一つは、医学科と同じ基礎医療を学ぶことができることです。生命科学科の学生は3年の後期にコースを選ぶまで、多くの部分で医学科と同じように過ごし、学んでいきます。基礎医療の分野によっては他学部の人と鑿を削ることもあり、そういった方々が持っていないような医学的な視点を養成することができるのではないか、と思いこの学科を志望しました。

また、ここでは医学科と違い研修がないことも大きな魅力でした。というのも、現在は医学科を卒業して研究者になる人は、6年の大学生活後医師免許を取り、研修医として2年間勤務したのちに大学などに戻ってきて院に入り研究者になる方が多く、時間がかかってしまいます。一方で生命科学科ならば、大学4年+大学院2年の計6年で研究者になることができます。もちろん実際の現場を知っていることでの利点もあるとは思いますが、自分にとって、この点は非常に魅力的でした。

次に、私がここに入るまでのことを書いていきます。私は後期試験で合格したので、そのことを中心に受験を振り返ります。私は英語が苦手だったので特に英語を中心に勉強し、九大対策とはあまり意識しませんでした。構文はとれても日本語に訳しにくい英文に重点を置いて勉強しました。英作文は単調にならないように、それでいて簡単な表現を中心に文を組み立てるように意識して書き、講師の先生に添削してもらいました。

私にできるアドバイスとしては、後期試験は英語150点、面接100点の250点満点ですが、面接ではほとんど差がつかないため緊張する必要はないということです。ある程度の準備をしておけば問題ありません！

以上、漠然としていますが入学理由や入試について書かせていただきました。何かの参考になれば幸いです。来年、生命科学科でお会いできることを楽しみにしています。

不安も多い
と思うけど、とても
期待されている学科です。
頑張る価値は絶対あ
ります。夢を叶えよう!!
(1年 西田 理紗)

まだ、卒業し
た人もいないので、
将来を不安に思う人もい
ると思いますが、これについ
て研究したいと決めている人
にはとても楽しい大学生活にな
ると思うので、ぜひともきてく
ださい。
(1年 藍原 周平)

やりたいこ
とが明確でなくても、
この学科では研究でき
ることが多いので、興味が
あるのならばぜひ受験してく
ださい。
(1年 濱崎 英臣)

「医学」を
道具に新しい
研究を!
(3年 尾鶴 亮)

**君たちの前に広がる
未知の荒野に道はない。
君たちの後に道はできる。**

先生、先輩、
友達、ここに来て
いい出会いがいっぱい
ありました。不安なこと
たくさんあると思いますが、
来たら何とかなるものです。
(1年 伊藤 愛)

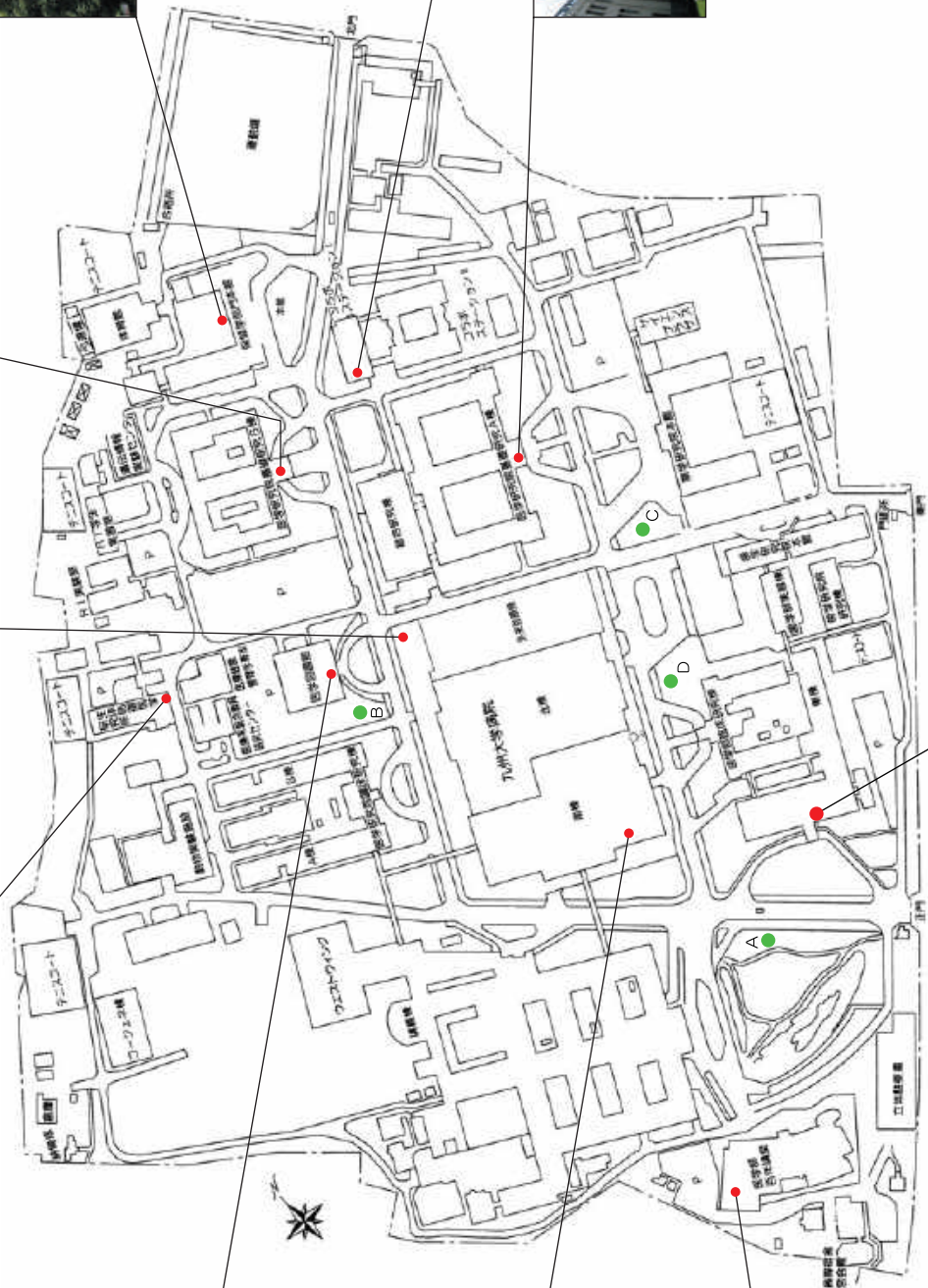
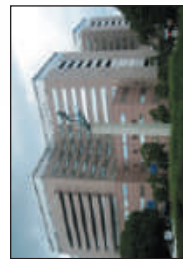
やりたい
ことがあるの
なら迷わず進もう。
(2年 塩川 萌)

医学科に少
しでも行きたいと
思っている人は、生命科
学科に入った後、「医学科と同
じ勉強してるのに、自分は医者
になれない」と悩むことになる
ので、覚悟をもって、受験して
ください。
(3年 永井 陽子)

本当に来
たいという意思
があれば必ずと結果
はついてくるはず。
(2年 田口 裕也)

建物配置図 CAMPUS MAP

病院地区 Hospital Area	敷地面積 Plottage	85,309 m ²
医学部建物 Fac. of Med.	敷地面積 Plottage	313,743 m ²



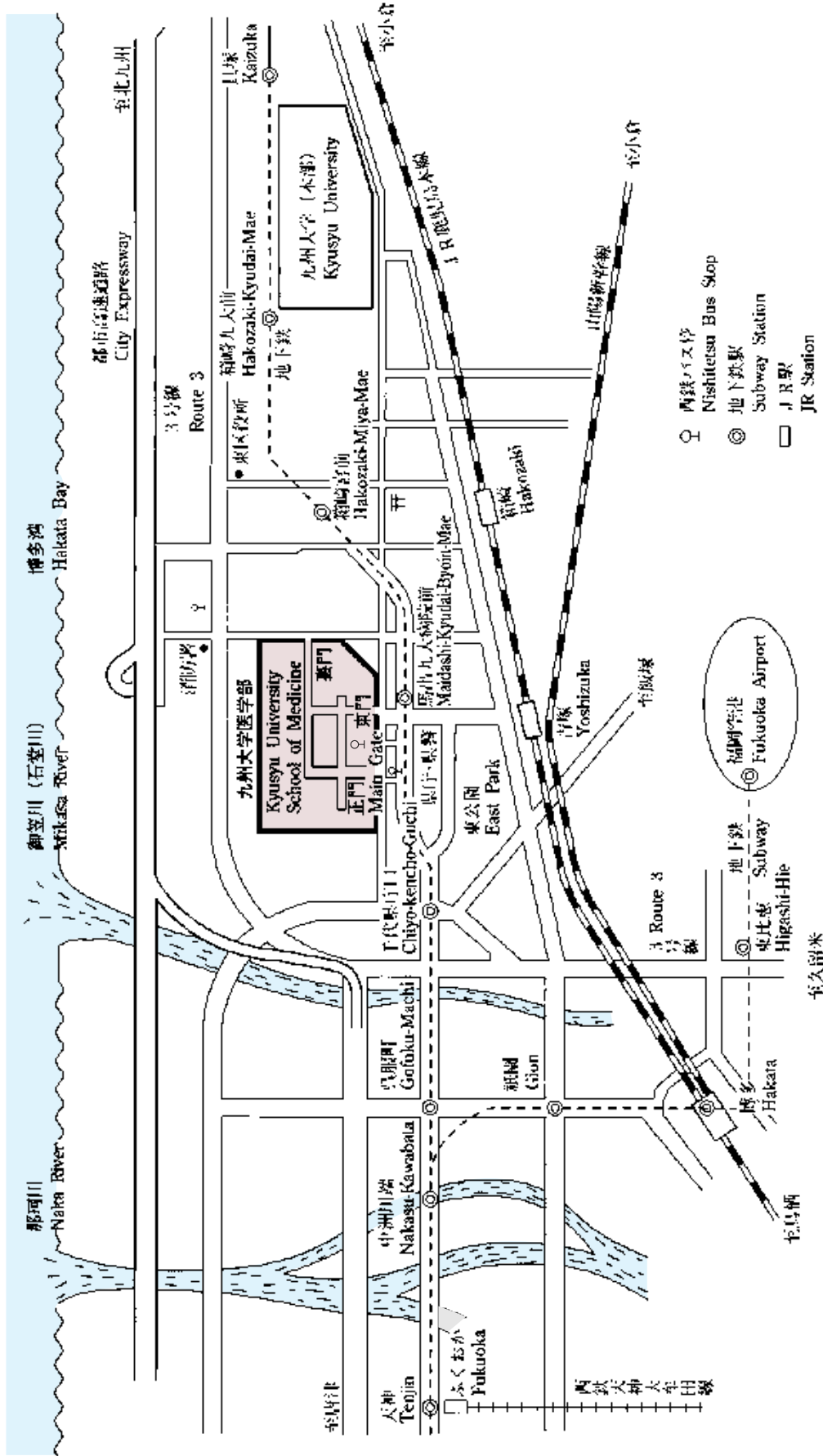
- モニュメント
- A : 大森通り
- B : 宮入通り
- C : 田原通り
- D : 稲田通り

医学部生係

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 092-642-6020 FAX. 092-642-6189
 3-1-1 Madashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 http://www.med.kyusyu-u.ac.jp/



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分

Subway service from Hakata Station to Madashikyudai-Byon-Mae is a 10 minutes' ride, but, necessarily to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分

Nishitetsu bus service, No.10 Kyudai-Mae or Yoshizuka-Citygoshho-Yuki, from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minutes' ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分

20 minutes' taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分

20 minutes' car ride from Fukuoka Interchange



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学医学部生命科学科ホームページ
<http://www.biomed.kyushu-u.ac.jp/>